

・「アクセス1回」「制限時間90分」「50点満点」の論述試験です。受験要領で示したルールを遵守して受験して下さい。事前に示したように不正行為には厳格に対応します。

・Wordの解答は、ファイル名を「学籍番号 氏名」にして下さい。最初に氏名と学籍番号を書き、問題番号を明記して下さい。

・90分の論述試験として、かなりの分量の論述解答が求められます。配点を参考にして、適切な論述の分量を判断して下さい。

問1. 分断国家をめぐる国際関係について論じなさい（7点×2問＝14点）。

- (1) 中華民国の公式領土は大陸と台湾を含むものであるにも関わらず、現在の中華民国は台湾大の国家として国際社会での生き残るための対外戦略を展開している。なぜどのように政府の対外政策は変化したのか、民主化による国内政治の変化という観点でまとめなさい。
- (2) 自らの領土を朝鮮半島全体とする大韓民国政府は、いつから朝鮮民主主義人民共和国という国家の存在を認めたうえで、どんな戦略で朝鮮半島をめぐる国際関係をコントロールしようとする戦略を展開したのか。転換点に着目して論じなさい。

問2. 「民主化の比較政治」に関し、以下の問いを論じなさい（10点×2問＝20点）。

- (1) 台湾の事例のように、権威主義体制の民主化は反対勢力の勝利で実現するわけではない。民主化はなぜどのように実現するのだろうか。原因や過程が異なるケースを整理して、この問いの答えをまとめなさい。
- (2) 権威主義体制が崩壊しても民主制が確立するわけではなく、確立した民主制が持続するわけでもない。近年は世界的な民主制の後退も危惧されている。民主制の要件をどう捉え、その確立・維持には何が重要だと考えられるだろうか。授業での学習を踏まえたうえで、それを発展させ、具体的な根拠に基づいて見解を論じなさい。

問3. 近年「経済安全保障」に注目が集まっているが、これはどういう概念で、なぜ国家の政策で重要視されるようになっているのか。これらを説明したうえで、この問題にいかに取り組むことが重要かを論じなさい（6点）。

問4. この授業全体を通じて最も重要だと思った問題を取り上げ、その問題について論述しなさい。その際、(1) 重要とみなす問題を「問い」として明示し、(2) それを最重視する「理由」を説明し、(3) その問いに対する答えを論述する形式で記述しなさい。授業内容から何を重要な問題として選択し、自らたてた問いに対して、根拠を示して論理的に論述することができているかが採点のポイントです（10点）。